

まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付申請書

R8年 4月/4日

NPO 法人  
 恵庭市市民活動センター運営協議会  
 理事長 様

団体名 特定非営利活動法人おはな  
 代表者名 石上 一美  
 住 所  
 電 話

恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金の交付を受けたいので、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第4条の規定により関係書類を添えて次のとおり申請します。

協働事業の名称	居場所づくり Ohana つながりサポート事業		
協働事業費の総額	100,000 円	補助金交付申請額	100,000 円
事業実施団体数	①単独・複数(団体数)	本事業での提案回数	2回目
協働する担当課	保健福祉部 福祉課 担当者：白石 聡史 (内線 2962)		
提案事業の内容	<p>実施期間 2026年 4月 1日から 2027年 2月28日まで</p> <p>【居場所づくり】                  本事業は、恵庭市内で孤独や孤立を感じている方々に向けて、多様な「居場所」を提供し、地域全体で支え合う仕組みを築くことを目的としています。障がいの有無や年齢、背景を問わず、誰でも参加できる居場所を複数設けることで、人と人とのつながりを深め、安心して過ごせる場を提供します。                  本法人は、内閣府の孤独・孤立対策プラットフォームに登録し、地域における孤独・孤立対策の一環として居場所づくりに継続的に取り組んでいます。令和2年(2020年)より活動を開始し、地域のニーズに応じてカテゴリーを広げながら、継続した支援を行ってきました。                  また、法人内では特定相談支援・一般相談支援事業所を運営しており、障がいのある方やそのご家族への相談支援を日常的に行っています。その中で、制度による支援に加え、安心して過ごせる居場所の重要性を実感しており、本事業の居場所は地域の方々や利用者にとっても大切なつながりの場となっています。                  今年度は、これまでの取り組みを継続しながら、各居場所のテーマに応じた小講座(ミニ講座)を取り入れ、参加者同士の交流に加えて学びの機会を提供し、日常生活に活かせる知識や気づきを得られる場づくりを行います。</p> <p>■居場所ふれあいサロンおはな                  すべての市民が参加できる交流の場として、障がいの有無に関係なく、子どもから大人まで誰もが参加できる居場所を提供しています。多世代が集い、交流を深めることで、地域コミュニティのつながりを育みます。</p> <p>■ともにカフェ ～依存症の回復を支える人たちの集い～                  依存症の問題を抱える方のご家族やパートナー、友人など、回復を支える立場の</p>		



	<p>方を対象としたクローズドな居場所です。安心して語り合える場の中で、思いや悩みを共有し、孤立を防ぐとともに、情報交換や学びを通じて支え合いの関係づくりを行います。</p> <p>■小中学生の居場所「ひみつきち」&amp;高校生・大学生の居場所 地域の小中学生を対象とした居場所「ひみつきち」を提供します。あわせて、高校生・大学生もボランティアとして関わることで、支える側・支えられる側の双方の居場所となることを目指します。地域の大人も含めた多世代の関わりにより、安心できる居場所づくりと地域全体での支え合いの仕組みを構築します。</p> <p>■親かふえ 障がいのあるお子さんを育てる保護者や、不登校・行き渋りに悩む保護者が気軽に集まり、思いや情報を共有できる場です。家庭教育支援の視点も取り入れながら、保護者同士が支え合い、安心して子育てができる環境づくりを行います。</p> <p>■こうじのうかふえ（2か月に1回開催） 発達障がいや精神的な困りごとなど、生きづらさを感じている方が安心して参加できる居場所として開催します。参加者同士がゆるやかにつながりながら、日常の悩みや工夫を共有し、孤立の防止を図ります。あわせて、テーマに応じたミニ講座を実施し、生活に役立つ知識や関わり方について学べる機会を提供します。</p> <p>【こころのサポーター養成講座の開催】 厚生労働省が推進する「こころのサポーター養成講座」を年間3回開催し、地域住民がこころの不調やメンタルヘルスについて正しく理解し、身近な人に対して適切に関わる力を身につけることを目的とします。 本講座では、こころの不調の基礎知識や声かけの方法、支援につなぐ視点などを学び、地域の中で「気づき・声かけ・つなぎ」ができる人材の育成を目指します。また、居場所づくりの活動と連動させることで、学びを実践へとつなげ、地域全体で支え合う風土の醸成を図ります。</p> <p>【小講座】 各居場所においては、テーマに応じたミニ講座を実施し、参加者が安心して学びながら交流できる環境を整えます。内容は、コミュニケーション、メンタルケア、子育て支援、依存症理解などを予定しており、日常生活に活かせる実践的な内容とします。</p>
<p>提案事業の目的及び期待される効果</p>	<p>【提案事業の目的】 本事業は、地域における孤独や孤立の予防・解消を目的とし、誰もが安心して参加できる多様な居場所を提供することで、人と人とのつながりを育み、支え合いの地域づくりを推進するものです。 内閣府の孤独・孤立対策プラットフォームの趣旨や、重層的支援体制の考え方を踏まえ、制度による支援だけでなく、制度の対象になりにくい方や支援につながっていない方も含め、誰もが気軽に参加できる居場所の充実を図ります。 また、これまで継続してきた居場所づくりの実践や、相談支援事業所としての専門性を活かしながら、地域のニーズに応じた居場所の運営と、学びの機会（小講座・こころのサポーター養成講座）を組み合わせることで、支援を必要とする方が早期に気づき、安心してつながり続けられる環境づくりを目指します。</p> <p>【期待される効果】 ○孤独・孤立の予防および早期支援の促進 多様な居場所を継続的に提供することで、制度の利用に至っていない方も含め、孤独や孤立を感じている方が安心して参加できる場が確保され、困りごとが深刻化する前に気づきや支援につながることを期待されます。 ○地域の理解促進と共生意識の向上 障がいや依存症、子育ての悩みなどについて、交流や講座を通して理解が深まり、</p>

	<p>市民同士の相互理解が進むことで、偏見や孤立の解消につながります。</p> <p>○支援の輪の拡大と地域力の向上        こころのサポーター養成講座やミニ講座の実施により、地域住民が支え手としての意識を持ち、日常の中での見守りや声かけが広がることで、地域全体の支援力の向上が期待されます。</p> <p>○多世代交流によるつながりの強化        子どもから高齢者まで、多世代が関わる居場所づくりを通して、世代を超えたつながりが生まれ、地域コミュニティの活性化につながります。</p> <p>○安心して相談できる環境づくりの推進        相談支援事業所の機能と居場所を連動させることで、制度の有無に関わらず気軽に相談できる関係性が構築され、継続的な支援につながることが期待されます。</p>
<p>提案事業の        役割分担</p>	<p>申請団体が担う役割        居場所提供の運営・企画、小講座の企画・実施、講師・会場の連絡調整、ボランティアの募集・調整</p> <p>担当課が担う役割        広報支援や情報提供等        事業が円滑に実施できるよう支援を行う</p> <p>連携団体が担う役割</p>
<p>添付書類</p>	<p>(1) 団体概要調書（様式第2号）</p> <p>(2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書（様式第3号）</p> <p>(3) 規約、会則又は定款及び役員名簿等の写し</p> <p>(4) 提案回数が4回目以上の場合は、団体の前年度事業報告、前年度の決算書、本年度の予算書</p>

団体概要調書

団体名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん おはな			
	特定非営利活動法人 おはな			
代表者氏名	(ふりがな) いしがみ かずみ			
	石上 一美			
事務所の所在地	[Redacted]			
	電話	[Redacted]	FAX	無し
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方			
	氏名	(ふりがな) いしがみ かずみ	電話	[Redacted]
		石上 一美	FAX	無し
設立年月日	2020年	4月	24日	会員数 10名
メールアドレス	[Redacted]			
団体ホームページ	http://www.ohana13.com/			
団体の目的	地域で暮らすさまざまな悩みや問題を抱えている子育て世代、障害者、若者及びその家族等が、気軽に集える居場所としてサロンを開設し、地域住民からからの相談や、育児の悩み、ひきこもり等昨今の地域住民等が抱えるさまざまな悩みに対する家族支援等の事業を広く行い、現代社会における教育問題や社会問題の改善ならびに社会全体の利益に寄与することを目的とする。			
主な活動内容及び実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●患者・家族遺族会</li> <li>●シッター・送迎・家事代行サービス</li> <li>●カウンセリング・不登校訪問支援</li> <li>●セミナー・研修の企画運営など</li> </ul> まちチャレ助成金事業 2020年度 がんサロン「サロンおはな～がん患者家族遺族会～」 2021年度 がんサロン「サロンおはな～がん患者家族遺族会～」 2022年度 依存症予防啓発普及事業 2023年度 依存症予防啓発普及事業 2024年度 依存症予防啓発普及事業 2025年度 居場所づくり Ohana つながりサポート事業			

市や国・道、他の団体から受けている補助金等	<ul style="list-style-type: none"><li>・有 [補助金等の名称:]</li><li>[金額:]</li><li>・無</li></ul>
-----------------------	--

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書

団体名	特定非営利活動法人おはな
協働事業の名称	居場所づくり Ohana つながりサポート事業

1. 収入 （単位：円）

項目	金額	説明（積算等）
補助金	100,000	まちチャレ補助金
合計	100,000	

2. 支出 （単位：円）

項目	金額	説明（積算等）
謝金	50,000	講師謝金5名分
施設使用料	15,000	公共施設使用料（えにあず）、機材ほか
印刷費	20,000	リーフレット・ポスター・横断幕印刷
消耗品	15,000	養生テープ、看板、プリンターインク、コピー用紙他
合計	100,000	

備考）補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に「まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）」とともに領収証の写しを添付する必要があります。